

摂食嚥下リハビリテーション学Ⅱ・実習

講義・実習 第1・2学年 2・4単位

《担当者名》 飯田 貴俊

【概要】

摂食嚥下リハビリテーション診療をおこなうにあたっては、歯科医師、歯科衛生士の他、医師・看護師・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・栄養士・薬剤師など、様々な職種との連携が不可欠である。それぞれの職種や、施設、病期の特徴や役割を理解し、地域での円滑な連携を図るための基盤づくりをおこない、地域活動への理解を深める。

【学修目標】

1. 摂食嚥下リハビリテーションに関わる職種について理解する。
2. 摂食嚥下リハビリテーションを実施する施設について理解する。
3. 摂食嚥下障害患者に関わる地域活動を説明できる。
4. 摂食嚥下リハビリテーションにおける啓発活動について説明できる。
5. 摂食嚥下リハビリテーション診療に関する多職種協働について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	摂食嚥下リハビリテーションにおける地域連携の基礎知識	1) 摂食嚥下リハビリテーションに関わる他職種について 2) 摂食嚥下障害患者が利用する施設について 3) 地域包括ケアシステムと摂食嚥下リハビリテーション	飯田 貴俊
2	摂食嚥下患者に関わる地域活動	地域活動の実践について	飯田 貴俊
3	摂食嚥下リハビリテーション診療に関する多職種協働	摂食嚥下障害の包括的リハビリテーションを実施するための理論的基盤を確認する。	飯田 貴俊

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況・口頭試問・レポート

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

外来ならびに院外においての実習を含む。

【学修の準備】

提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献購読をしておくこと。

【実務経験】

歯科医師